

これからの社会で求められる能力とは

—学校教育経営品質向上(Performance Excellence)を目指して—



東京都足立区中学校副校長会
副校長研修会 第4分科会

2015年8月27日(木)


14:00~16:45


東京都足立区梅田地区学習センター(L.ソフィア)学習室

株式会社開倫塾

代表取締役社長 林 明夫

(公益社団法人経済同友会 幹事)





Q 1 : 本日の研修会の目的は何ですか。

A : 教育管理職(副校長)としての資質向上や人材育成、リーダーシップについて、企業の視点から考えることです。

Q 2 : これからの社会はどのような社会ですか。そこで求められる能力は何ですか。

A : (1)「知識基盤社会(Knowledge Based Society)」です。

そこで求められるのは、「知識、情報、技術を相互作用的に用いる能力」です。

(2)「グローバル(Global)社会」です。

そこで求められるのは、「多様な集団で交流する能力」です。

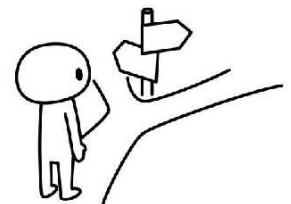
(3)「課題山積社会」です。

そこで求められるのは、「高い志を持って自律的に活動する能力」です。



Q 3 : 経営とは何ですか。

A : 「経営」とは「営みを経て目的(ゴール)や目標(目的に至るマイルストーン、一里塚)に到達すること」です。



Q 4 : 経営の基本理念とは何ですか。

A : 経営をする上で共有すべき価値、目的とすべき価値で、4つあります。

(1)顧客本位

(2)独自能力

(3)社員重視

(4)社会との調和

*この経営の基本理念を目的とする取り組みが、「経営品質向上(Performance Excellence)」です。

「行政経営品質」と同様、学校でも「学校経営品質」の取り組みが考えられます。

*事実を前提とした事実前提の経営から、価値を前提とした価値前提の経営を目指すことが大切です。

*「価値」、「意味」、「秩序」を大切にすべきと考えます。

Q 5 : 人材育成の基本は何ですか。

A : 「社員重視」です。

(1)社員重視とは、働くに値する職場をつくること、尊厳をもって働ける職場をつくることです。

(2)その中心概念は empowerment(エンパワーメント)と考えます。

(3)empowerment には①「能力強化」と②「権限委譲」という 2 つの意味があります。「能

力を強化」した人に「権限を委譲」。

(4) 労働生産性の向上を図り、労働条件の向上や雇用の維持・拡大を図るべきと考えます。

(5) 一人ひとりが自分の潜在能力を自分の手で見出し、自分のキャリア形成について自己決定し、自分の力で伸ばすことが大切です。

Q 6 : 組織能力の向上はどのように図ればよいのですか。

A : (1) 組織として共有すべき「価値」「理念」を明確にすること。

(2) 優先順位をつけた上で、取り組むべき「課題」を明確にすること→「課題設定」を

(3) その上でP→D→C→Aをまわすこと

〈PLAN〉

- ① 「現状」を把握する→何が問題か
- ② 「原因」の推定→なぜ、なぜ、なぜ
- ③ 「目標」の設定→達成可能で具体的な「目標」を設定
- ④ 「手段」の選択→実働可能で有効な手段を選択
- ⑤ 「集団意思形成」

〈DO〉

- ⑥ 決定通りの「手段実施」の確認

〈CHECK〉

- ⑦ 「検証」→結果と目標の比較

〈ACTION〉

- ⑧ 「修正」



(4) 「競合比較(競争相手との比較)」と「ベストプラクティスのベンチマーク」を戦略的(作戦を立てて、チームを組み、定期的に)に

- ① 社内のベストプラクティスのベンチマーキング
- ② 同業他社のベストプラクティスのベンチマーキング
- ③ 異業種のベストプラクティスのベンチマーキング

(5) 「学習する組織(Learning Organization)」を目指す

(6) Joy of Work(働く喜び)

(7) Visionary Company(ビジョナリー・カンパニー、永続する企業)の3つの条件とは、①自律的な人材が、②自律的な考えで、③自律的に行動すること

Q 7 : 「危機管理」の基本は何ですか。。

A : (1) 「情報の共有化」、「危機意識の共有化」

(2) 企業としての社会的使命(ミッション)、使命感、責任感の共有

(3) B C P (Business Continue Plan(ビジネス コンティニュー プラン)、企業継続計画)の策

定と絶えざる更新

- * 「事件・事故の教訓化」
- * 「机上訓練」と「実施訓練」

Q 8 : 地域に向けての P R 戦略の基本は何ですか。

- A : (1) PR (Public Relations、パブリック・リレーションズ、広報) 担当者の選任
(2) 「マーケティング(顧客価値創造)の 4P」

マーケティングの 4 P	顧客にとっての「価値」「意味」
・ Product 製品・サービス	顧客の問題解決
・ Price 価格	顧客の負担
・ place 場所・流通	顧客の利便性
・ promotion 販売促進・ 広告宣伝・広報	顧客とのコミュニケーション

- (3) 「PR」とは、学校の潜在顧客、利害関係者、パートナーである「地域社会 (Community コミュニティ)」との「コミュニケーション」

Q 9 : 次世代の社会を担うための理想的な教育とは何ですか。

- A : (1) 「次世代の社会とは何か」を考えること
(2) 「Second Machine Age (セカンド マシン エイジ)」は参考になります。
(3) 成熟諸国は少子高齢化。世界は人口爆発、アフリカの人口は 10 億人単位で増加。
(4) 「主体的に学ぶ力」を身に着けて、「多様な選択肢のある人生を歩む」と同時に、「正常に機能する社会(持続可能な社会)の形成に貢献する」ことが、「よく生きる」ことにつながる「理想的な教育」と考えます。

Q 10 : グローバル化が進む社会で大切なことは何ですか。

- A : (1) 「多様性 (Diversity、ダイバーシティ)」を現実のものとして受け入れること。
(2) 一人ひとりを価値ある存在として尊重すること。
(3) 他人のいたみを自分のいたみとして感じることができること。
(4) あらゆる世代で「古典」を読み込み、自分自身を確立すること。
(5) 新聞をよく読み、その上で「自分で考える力」、「批判的思考 (Critical Thinking) 能力」を身に着けること。
(6) 「音読練習」と「書き取り練習」を繰り返して、外国語を身に着けること。「英字新聞」を毎日読むこと。

Q 11 : 企業倫理とは何ですか。公務員と民間の違いは何ですか。

A : (1)「Business Ethics(ビジネス エシックス企業倫理)」とは、「企業の社会的責任(Corporate Social Responsibility コーポレート ソーシャル リスポンシビリティ)」つまり「企業は社会の上に成り立つ」ものであるから、企業市民としての社会的責任を果たさなければならないという考えの上に成り立っています。

(2)相手の言うことをよく聞くことが、その基本です。問題点があったらすぐに原因を調査して、責任の所在を明確にした上ですぐに応急措置を講じ、システムを考え直すなどの対処をしないと、企業としての社会的責任が果たせません。

*「ペヤング」の「ソース焼きそば」は長期間の操業停止までしました。



(3)「企業は原則、倒産」ですので、対処を誤ると倒産に至ります。

Q12 : 中立的な業績評価は可能でしょうか。

A : (1)評価の基準を設けて行えば可能と考えます。

(2)但し、「教育の成果をどのように評価するのか」という困難な課題があります。

(3)「時間をかけ、納得できる評価制度を設ける必要があると考えます。

(4)入れて頂きたい評価項目は、

- ①外国人の児童・生徒の割合
- ②外国人の教員、事務職員の割合
- ③コンピュータスキル(ワード、エクセル、アクセス)
- ④外国語によるコミュニケーションスキル
- ⑤最近5年間の大学や大学院での学習履歴



Q13 : 最後に一言どうぞ。

A : 私の好きなことば

(1)「小学4年生からは 新聞を毎日読むこと」(足利市立山辺小学校 岡典子先生)

(2)「練習で泣いて試合で笑え」(足利市立山辺中学校 椎名弘先生)

(3)「ブルドッグ魂(食いついたら離すな)」(足利市立山辺中学校 岡田忠治先生)

(4)「一所懸命(一つの所で命を懸けるくらいがんばろう)」(足利高校マラソン大会の合言葉)

(5)「一生勉強、一生青春」(相田みつを先生)

以上

御清聴を感謝いたします。

